

物語文を読んでえらぼう

小6／物語を読んで、人物の心情や理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 がんばれの声を よんで、『あせと何か』が表すものを1つえらびましょう。

マラソン大会で、後ろから二番目を走る由衣は、何度も歩きたくなった。沿道から「由衣、あと少し!」と母の声が聞こえたとき、下がりかけていた顔が、ふっと上がった。ゴールテープを切った由衣のほおを、あせと何かが伝った。

1 さいごまで走りきった達成感の涙。

2 順位が低いことへの怒り。

3 走るのをやめたいという気持ち。

4 母への不満。

2 捨てられない絵を よんで、美月がもどしたのはなぜですか。1つえらびましょう。

部屋を片づけていた美月は、幼いころにかいた下手な絵を見つけた。ふつうなら捨てるところだが、その絵のうらに母の字で「宝もの」と書いてあるのを見て、美月はそっと元の場所にもどした。

1 絵が上手だと思い直したから。

2 母が大切にしていた気持ちに気づいたから。

3 捨て方がわからなかったから。

4 また明日捨てようと思ったから。

3 後ばいへの言葉を よんで、メモにこめた玲の思いを1つえらびましょう。

部活最後の日、いつもきびしかった先ばいの玲が、後ばいに一枚のメモをわたした。そこには「よくついてきた。あとはまかせた」とあった。ぶっきらぼうな玲らしくないその言葉に、後ばいたちは胸を熱くした。

1 後ばいの努力を認め、後をたくす思い。

2 後ばいをまだ信用していない思い。

3 部活が早く終わってほしい思い。

4 後ばいに関わりたくない思い。